

図 5-12-1 1896 年明治三陸地震 (M8.5) による震度分布。
青線は海溝軸、▲は震央の位置。

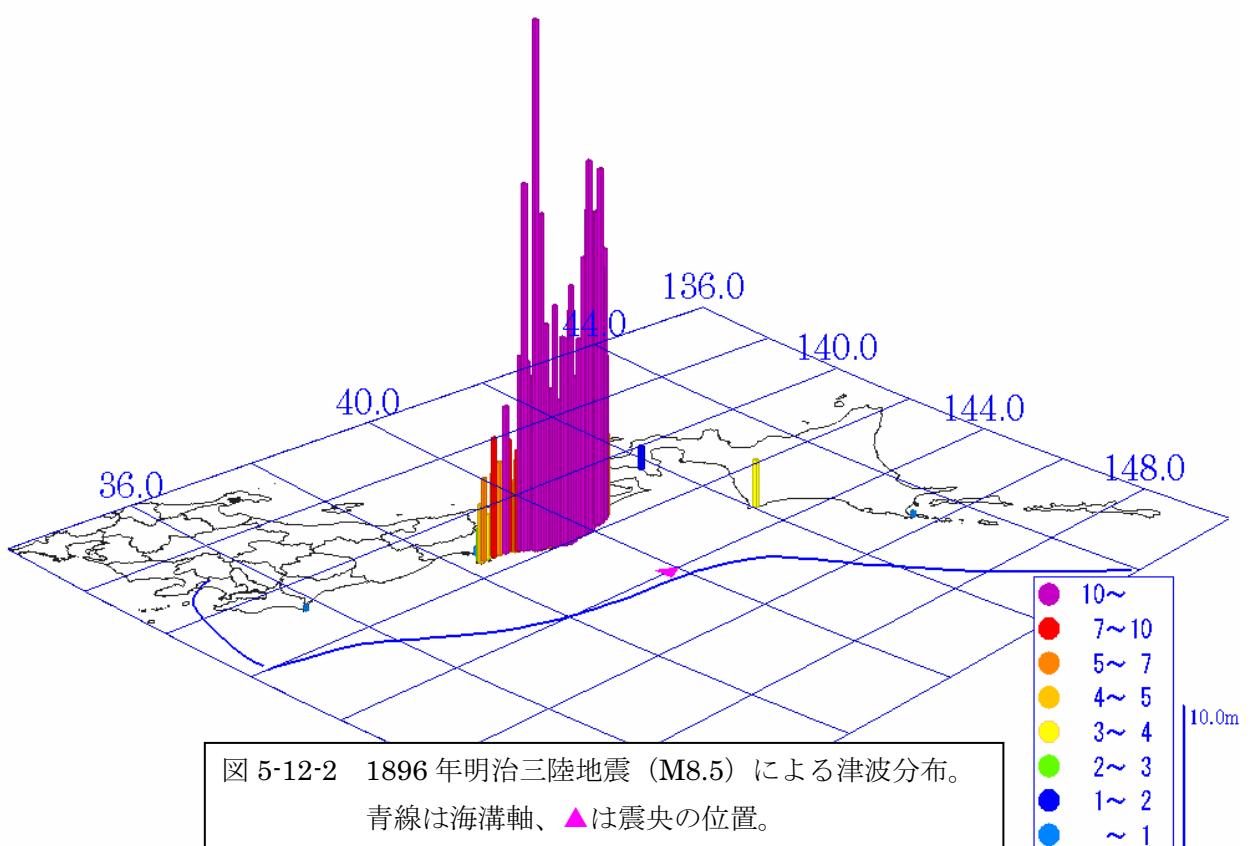


図 5-12-2 1896 年明治三陸地震 (M8.5) による津波分布。
青線は海溝軸、▲は震央の位置。

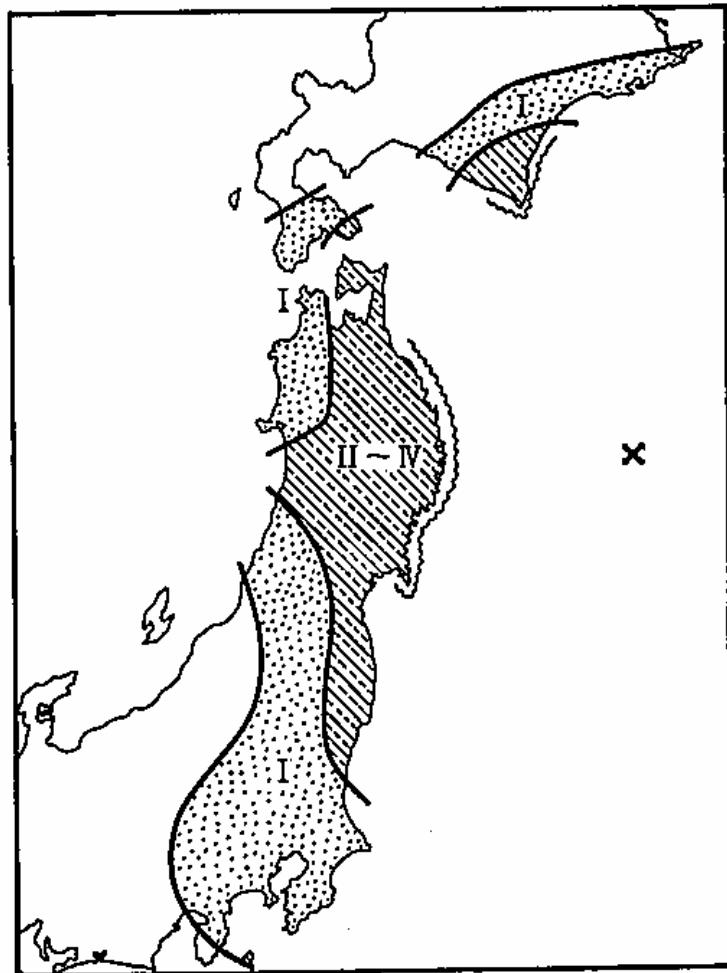


図 316-1 震度分布 [気象庁による]

図 5-12-3 1896 年明治三陸地震 (M8.5) による震度分布。
宇佐美 (2003) による。

1896 明治三陸地震の津波の高さに関する資料について

1896 年明治三陸地震の津波痕跡調査結果について取りまとめた。これらの調査結果には信頼性の高いものと低いものとが混在している。

1. 調査文献

① 伊木(1896)による現地調査

伊木(1896) : 三陸地方津波実況取調べ報告, 震災予防調査会報告, 11, 5-34.

② 山奈(1896)による現地調査

卯花・太田(1988) : 三陸沿岸大海嘯被害調査記録－山奈宗真, 東北大学工学部津波防災研究所研究報告, 5, 57-379.

③ 松尾(1933)による現地調査

松尾春雄(1933) : 三陸津浪調査報告, 土木試験所報告, 24, 83-112.

④ 東北大学による現地調査

首藤・後藤(1985a) : 三陸大津波痕跡調査－羅賀・平井賀・鳥の越(田野畠村)・小本・下小成(今泉町), 東北大学工学部津波防災研究所研究報告, 2, 39-45.

首藤・後藤(1985b) : 三陸大津波痕跡調査－越喜来(三陸町), 東北大学工学部津波防災研究所研究報告, 2, 46-53.

首藤ほか(1987) : 三陸大津波痕跡調査－大船渡市末崎町, 東北大学工学部津波防災研究所研究報告, 4, 101-113.

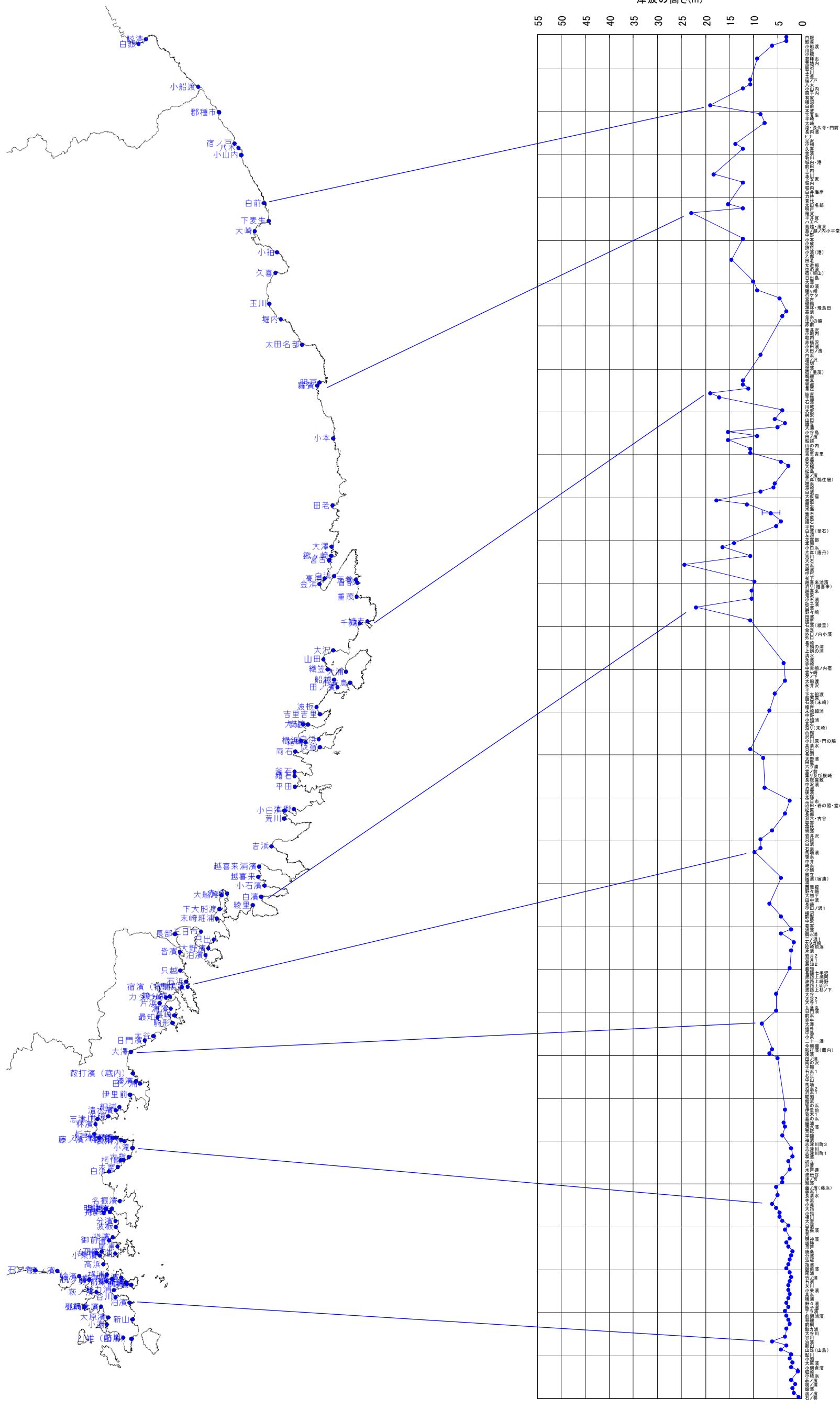
今村・渡辺(1989) : 岩手県田老町田老での三陸大津波調査, 東北大学工学部津波防災研究所研究報告, 7, 123-140.

2. 檢潮記録

気象庁による

検潮所	花咲	鮎川	銚子
観測値	0.4m	1.3m	0.3m

1896年明治三陸地震津波痕跡の伊木(1896)による調査結果



1896年明治三陸地震 津波痕跡の山奈(1896)による調査結果

